

令和7年度社会人特別選抜入学試験（小論文） 出題意図および採点のポイント
地域創生学部 地域創生学科 地域文化コース

1. 出題意図

地域創生学部地域創生学科地域文化コースは、自らが働き、暮らし、活動する身近な地域の問題、あるいは日本や世界の各地で起きている出来事に対する関心と基礎的な知識・技能を有し、それらについて主体的に多角的な考察を深め、相互に協力して学修を進めていこうとする意欲を持つ人を求めている。そのため、日本や世界の各地でも起きる身近な問題について書かれた課題文を提示し、それに関する設問への解答を評価することで、課題文の読解力はもとより、地域の問題に関する基礎的な知識の有無、論理的思考力、文章表現力などを総合的に評価することを意図した。各設問の出題意図は以下のとおりである。

【問題一】

課題文で述べられている筆者の主張を読み取り、論理的に要約する問題であり、課題文の読解力、文章表現力を問うことを意図した。

【問題二】

課題文で述べられた著者の主張を踏まえた上で、自らの考えを論理的に記述することを求める問題であり、課題文の読解力、論理的思考力、文章表現力を問うことを意図した。

2. 採点のポイント

【問題一】

1. 著者が見出したスポーツのもつ特徴と「体育ざらい」がどのような関わりを持つのかについて、本文中に括弧付きで表記された語句（「勝つ」「競争」「ミス」「失敗」「スポーツを通して人を育てる」など）などを用いて、著者の取り上げた事例に即した説明がなされている。
2. 著者の説明を踏まえながら、適切な整理がなされている。
3. 適切な文字数で述べられている。
4. 誤字・脱字などがなく、漢字を適切に使用し、段落分けが適切になされている。
5. 論理的で明快な文章表現と構成がなされている。

【問題二】

1. 著者の指摘するスポーツの特徴と「体育ざらい」との関連について適切な検討がなされている。
2. スポーツの有する「競争」や「勝ち負け」にこだわるという側面が、時として学校教育の理念とはそぐわないという特徴をふまえた上で、体育の授業でスポーツを取り入れる意味について自分の言葉で具体的かつ論理的に記述している。
3. 適切な文字数で記述している。
4. 誤字・脱字などがなく、漢字を適切に使用し、必要に応じて段落分けが適切になされている。
5. 論理的で明快な文章表現と構成がなされている。